

平高だより

187号

R6(2024).3.22

季節のめぐり

校長 鈴木 浩

我が国には「年度」という制度があり、年末の十二月とはまた違った、一年の終わりの月がこの三月です。三月は、人との別れ、環境との別れ、そして、今までの自分との別れもあり、さよならの時期です。しかし、別れの後にやってくる新たな出会いやスタートに期待を膨らませる時でもあります。また、年度末がどこかうきうきするのは、季節の再生、つまり冬から春になる時期と重なるからでしょう。

冬の厳しい寒さを毎身体感している北海道人は、春の訪れが誰よりも嬉しいはずですが、冬の辛さを知っているからこそ春が嬉しい。人も、辛い時期を乗り越えたなら、その後に来るのは喜びです。苦しさ、辛さは必ず乗り越えられるか、いつかは過ぎ去ります。季節のめぐりはぜひ教えていきます。

卒業おめでとう

三月一日、第三五回卒業証書授与式を行いました。

十三名が遠藤町長、川上PTA会長をはじめとした来賓の方々、保護者の皆様に見守られ、祝福されて卒業することができました。

卒業生代表の仲山大温さんは在校生に、「毎日顔を合わせる中で、誰がどんな長所を持っていて、誰が何を今頑張っているのか、そんなことを考えながら学校生活を過ごすことに、私は価値があると思います。二年生、一年生にはそのような学校を作ると私たち三年生が誰よりも知っています。みんなでこの平取高校を引っ張っていきましょう。」と呼びかけました。また、家族に「将来は立派な社会人となり家族を安心させるつもりです。そのときまでどうか私たちを信じて見守っててください。」と語る姿は、困難を乗り越え、充実した学校生活を送った自信にあふれていました。



お世話になりました

後藤 あゆみ 教頭 退職



豊けき沙流川♪

平取高校には、昭和六三年四月新任教諭として赴任し、全日制課程一、二期生とともに新しい学校を創りました。また、令和五年度は、道外から生徒を募集する新しいチャレンジにも参加させていただきました。さらに、卒業生の皆様が行政や産業で平取町を支えている姿を見ることができ、幸せな気持ちです。三回通算八年間の平取高校勤務、平取高校で退職できたことが嬉しいです。今後は、別の立場で平取高校魅力化に携わり、校歌が永遠に平取町に響くことを願っております。

宝崎 卓二 事務長 美唄聖華高校へ



宗谷管内にある利尻高校から令和三年四月に赴任し三年間平取町と平取高校にはたいへんお世話になりました。生徒たちが学校の施設設備を大切に使ってくれているよう日々の仕事を通じ感じられたことをたいへん嬉しく思っています。

雪が少なく穏やかで過ごしやすい気候の平取町を離れることは少し残念ですが、新たな勤務地でも事務職員の立場で教育環境の整備に努めていきたいと思います。三年間ありがとうございました。

沖縄県立与勝高校のみなさんと交流しました

二月二日、「総合的な探究の時間」で連携をしている沖縄県立与勝高等学校の生徒さん六名、先生一名が来校され、本校体育館にて交流会を行いました。

体育館で行われた交流会では、北海道の方言クイズなどを通して交流を深めることができました。方言クイズの中には、平高生も知らない方言が多数あり大変盛り上がりました。また、放課後には雪原体験やフルーツバスケットを行い、さらに交流を深めました。

平高生の感想には、「北海道のことをたくさん知ってもらい、違いを楽しむことができてよかった。」「沖縄のことについても知れたし、北海道のことも知ってもらえたと思うのでよかった。」などがありました。

最後に、今回の訪問にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



初めまして！



交流会



最後には沖縄のお土産もいただきました！



平取高校紹介



雪原体験



行事予定

四月

- 一日(月)～七日(日) 年度始休業
- 八日(月) 始業式、入学式
- 九日(火) 対面式
- 十日(水) スタディーサポートテスト
- 十一日(木) 歯科検診
- 十二日(金) 身体測定
- 二十日(土) PTA総会、授業参観
- 二三日(火) 進路ガイダンス(二・三年)
- 二五日(木) 心電図・レントゲン検査(二年)
- 二六日(金) 防犯(スマホ安全)講話

「平高だより」は道新に折り込みしています。また、ふれあいセンターでも配布しています。